

法人情報

法人格・法人名称・住所	株式会社 長英会 福岡県福岡市中央区大名1丁目15-20
代表者名	代表取締役 高橋 芙姫子

研修期間情報

事業所名称・住所	ふくよかケアスクール大平寺の森 福岡県福岡市南区大平寺2丁目13-30
理念	受講者が介護職員初任者研修全過程の習得をすることで、社会から信頼される基礎的知識と技術を身に付けた人材を養成する。
学則	「学則」をご参照ください。
研修施設、設備	ふくよかケアスクール大平寺の森（大平寺の森クリニック2F）

研修の概要

対象者	介護や福祉に関心や意欲のある方。介護業務に従事しようとする方、又は従事している方。
研修スケジュール (期間・日程・時間数)	平成30年度：平成30年6月3日～平成30年10月14日
定員と指導者数	定員：12名 指導者数：6名
研修受講までの流れ (募集・申し込み)	募集期間：平成30年4月15日～平成30年6月2日 【必要書類】 当事業所規程の申込書 【申し込み方法】 受講申込書を提出し、開校日前日までに費用をお支払いください。
費用	81,000円（テキスト代を含む。消費税込み）
留意事項・特徴・受講者へのメッセージ等	当講座は、医師及び介護の現場で働いている専門職が講師を務めており、現場に即した専門的知識や技術を習得できます。

課程責任者

課程編成責任者	武部 祐
---------	------

研修カリキュラム

科目別シラバス及び特徴	シラバスをご覧ください。
使用テキスト	介護職員初任者研修テキスト（中央法規出版）
科目別特徴	シラバスをご覧ください。
科目別担当教官名	研修日程表をご覧ください。

通信学習

通信学習の内容・指導体制・指導方法等	学則をご覧ください。
--------------------	------------

修了評価

修了評価	修了評価は、筆記試験を全科目終了後に1時間実施。70点以上の正答をもって合格とみなす。
------	---

講師情報

講師名 略歴・現職・資格	講師一覧表をご覧ください。
-----------------	---------------

実績情報

過去の研修実施回数(年度毎)	2回
過去の研修延べ参加人数(年度毎)	4名

連絡先等

お申し込み・資料請求先	介護職員初任者研修課 電話092-567-6600
法人の苦情対応者名・役職・連絡先	ふくよかケアプラザ大平寺の森 介護職員初任者研修課担当 武部 祐 電話092-567-6600
事業所の苦情対応者名・役職・連絡先	ふくよかケアプラザ大平寺の森 介護職員初任者研修課担当 武部 祐 電話092-567-6600

様式第2号

学 則

1 事業者の名称及び所在地	株式会社 長英会 福岡県福岡市中央区大名 1-15-20
2 研修の名称及び形式	介護職員初任者研修 ( 通学 ・ 通信 )
3 事業者が用いる研修の名称	ふくよかケアスクール大平寺の森
4 研修責任者名	武部 祐
5 研修の目的	受講者が介護職員初任者研修全過程の習得及び資格取得をする。
6 受講資格及び定員	受講資格：介護や福祉に関心や意欲のある者。介護業務に従事しようとする者、又は従事している者。 研修参加費用を研修開始日までに納付すること。 定 員：12名。
7 研修参加費用 ・受講料 ・テキスト代 ・その他必要な経費	合計 81,000 円(税込) (内訳)・受 講 料：75,600 円(税込)(税抜70,000 円) ・テキスト代：5,400 円(税込)(税抜5,000 円)
8 使用教材(テキスト) ※副教材を含む。	介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版)
9 研修カリキュラム	※研修日程表(様式第3号) ※研修区分表(通信の方法の場合)(様式第4号) ※通信学習の科目別レポート提出期限整理表(様式第5号) ※見学及び実習実施日程表(様式第6号)
10 研修会場一覧	※講義及び演習会場一覧表(様式第10号)
11 科目ごとの担当講師名一覧	※担当講師一覧表(様式第7号)
12 見学及び実習施設一覧 ※実習を行う場合のみ	※見学及び実習施設一覧表(様式第12号)
13 受講者募集手続	法人のホームページ上で募集広告を掲載する。

<p>14 科目の一部の免除の取扱いとその手続</p>	<p>介護等の実務経験が1年以上の者が受講した場合においては、受講中にその証明書を提出できるものは、研修カリキュラムの項目1「職務の理解(6時間)」(1)多様なサービスの理解、(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解、を免除できる。 ただし、受講料の減免はしない。</p>
<p>15 通信学習の実施方法 ア 学習方法 イ 添削指導及び面接指導の実施方法 ウ 評価方法 エ 通信の方法によって行う地域</p>	<p>ア 講座開始日に受講生へ使用テキストとレポート課題を配布し、自宅学習を行う。自宅学習の成果を確認するため、4回のレポート課題提出を課す。 使用するレポート課題は、使用テキスト「介護職員初任者研修テキスト」(中央法規出版)を使用し、その内容は各カリキュラムを網羅するものである。</p> <p>イ 提出されたレポート課題は、担当講師が採点及び添削する。通信による学習で陥りがちな独りよがりや思い込みを防ぎ、不明確な事柄や学習の内容をフォローするために、質問事項はFAXまたは郵便または電子メールにて送付してもらい、後日、担当講師より回答を送ることとする。 面接指導は、受講者に対して個別に行わず、受講者全員を対象として行うこととする。①面接指導における科目ごとの時間数の割振りは、研修効果を考慮し決定する。②面接内容については、指導担当講師による理解度の確認、及び受講生からの不明点・質問等に回答する形式で行う。</p> <p>ウ 提出されたレポート課題は理解度の順にA B C Dの区分で評価する。理解度がDの場合は、レポートを再提出させて、学習の向上を図る。 評価内容(満点の得点に対し) A:100~90% B:89~80% C:79~70% D:70%未満</p> <p>エ 福岡県全域とする。ただし、他県の場合でも受講する事が可能な場合は協議の上決定する。</p>

<p>16 研修修了者の認定方法 (修了評価の実施方法等)</p>	<p>すべての科目を修了し、その後に行う修了評価の筆記試験に合格した者を修了と認定する。          なお、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価は、「9 こころとからだのしくみと生活支援技術」で行うものとする。</p> <p>&lt;修了評価の方法&gt;</p> <p>1 出題範囲 (出題する科目)          指定テキスト (介護職員初任者研修テキスト (中央法規出版) ) の全範囲</p> <p>2 出題形式          五肢択一形式とする。</p> <p>3 出題          40問 (配点100点)</p> <table border="0"> <tr> <td>①介護における尊厳の保持・自立支援</td> <td>⇒ 4問</td> </tr> <tr> <td>②介護の基本</td> <td>⇒ 4問</td> </tr> <tr> <td>③介護・福祉サービスの理解と医療との連携</td> <td>⇒ 4問</td> </tr> <tr> <td>④介護におけるコミュニケーション技術</td> <td>⇒ 4問</td> </tr> <tr> <td>⑤老化の理解</td> <td>⇒ 4問</td> </tr> <tr> <td>⑥認知症の理解</td> <td>⇒ 4問</td> </tr> <tr> <td>⑦障害の理解</td> <td>⇒ 4問</td> </tr> <tr> <td>⑧こころとからだのしくみと生活支援技術</td> <td>⇒ 12問</td> </tr> </table> <p>評価基準は、理解度の高い順にA・B・C・Dの4区分とし、C以上 (70点以上) を合格とする。各出題範囲における最低基準点は設けない。          A = 90点以上、B = 80～89点、C = 70～79点、D = 70未満</p> <p>4 不合格の場合の再試験          ・Dの者については1時間以上の補習を行い、再試験を行う。なお、再試験に係る合格基準は70点以上とする。          ＊再試験料は1回当たり1,500円 (税抜) とする。          ＊補習料は1時間当たり2,500円 (税抜) とする。</p>	①介護における尊厳の保持・自立支援	⇒ 4問	②介護の基本	⇒ 4問	③介護・福祉サービスの理解と医療との連携	⇒ 4問	④介護におけるコミュニケーション技術	⇒ 4問	⑤老化の理解	⇒ 4問	⑥認知症の理解	⇒ 4問	⑦障害の理解	⇒ 4問	⑧こころとからだのしくみと生活支援技術	⇒ 12問
①介護における尊厳の保持・自立支援	⇒ 4問																
②介護の基本	⇒ 4問																
③介護・福祉サービスの理解と医療との連携	⇒ 4問																
④介護におけるコミュニケーション技術	⇒ 4問																
⑤老化の理解	⇒ 4問																
⑥認知症の理解	⇒ 4問																
⑦障害の理解	⇒ 4問																
⑧こころとからだのしくみと生活支援技術	⇒ 12問																
<p>17 研修欠席者の取扱い          ※遅刻者及び早退者の取扱いを含む。</p>	<p>研修開始から10分以上の遅刻者あるいは早退者は、研修の一部を欠席した者とみなし、補講の対象とする。          理由の如何にかかわらず、研修開始から10分以上遅刻した場合は欠席とする。</p>																

<p>18 補講の取扱い (実施方法及び費用の有無等)</p>	<p>研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、同等の知識が得られるよう、次回以降の研修の同じ科目を履修することにより、補講を行い、当該科目を修了した者とみなす。但し、次回以降の補講の当該科目が定員超及び定員に達していない場合等の休講の場合、日程調整の上、別日を設け補講できるものとする。 *補講料は1時間当たり3,000円(税抜)</p>
<p>19 受講の取消し</p>	<p>次の1～4いずれかに該当する者は、受講を取り消すことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本研修あるいは当法人の名誉を毀損または秩序を乱したとき。</li> <li>2 故意に当法人あるいは実習先の施設・設備等を毀損したとき。</li> <li>3 講義等の進行を妨げる等、他の受講生の迷惑になる行為を行い、あるいは、講師や実習先等の指示に従わず、改善が認められないと判断したとき。</li> <li>4 社会情勢や天災等により、やむを得ず講座が継続出来ないとき。</li> </ol> <p>*返金規定</p> <p>受講取り消しとなった場合には、以下の返金規定により返金を行う。(クーリングオフ以外の場合)</p> <p>ア. 自己都合による受講中止の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキスト配布前の受講中止 全額返金(81,000円) 振り込み手数料は受講生負担とする。</li> <li>2. テキスト配布後の受講中止 返金無(0円)</li> </ol> <p>イ. 自己都合によらない受講中止の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキスト配布前の受講中止 全額返金(81,000円) 振り込み手数料は受講生負担とする。</li> <li>2. テキスト配布～修了審査での受講中止 半額返金(40,500円)</li> </ol> <p>特定商取引に関する法律の適用される場合(クーリングオフ)については、次のとおりとする。</p> <p>ア. 受講申込書を当法人が受け取った日を含む8日間は、書面により無条件に契約解除を行うことができる。</p> <p>イ. 契約解除は、「申込日、氏名、住所」と「契約を解除する」旨の表記をした書面を当法人に郵送し、当法人が申込日から8日以内に受領したとき(郵便消印日付)に解除される。</p> <p>ウ. 解除された場合、すでに引渡されたテキスト等の引取りに要する費用は当法人で負担する。また、すでに代金の全部または一部を支払われている場合は直ちにその金額を返還する。ただし、テキスト等に汚損・毀損などが有った場合は、実費でお買い取り頂く。</p>

20 修了証明書の交付	修了評価の筆記試験に合格した者に対し、遅滞なく修了証明書（様式第1号及び様式第2号）を交付する。
21 研修修了者の名簿の管理	鍵付き書類保管庫にて、永年保存する。
22 受講者の個人情報の取扱い	<p>受講者等の個人情報を、正当な理由がなく漏らし、又は不当な目的に使用しない。</p> <p>受講者等に対し、実習等で知り得た個人情報を漏らし、又は不当な目的に使用することのないよう指導する。</p>
23 研修の実施担当部署	<p>株式会社長英会</p> <p>ふくよかケアスクール大平寺の森</p> <p>介護職員初任者研修課</p>
24 その他研修実施に係る留意事項	補講が必要となった場合は、次回以降の研修が定員に達しなかった場合に補講を受講することが出来るものとする。

研 修 日 程 表

事業者名：株式会社 長栄会

研修期間：平成30年6月3日～平成30年10月14日

●講義・演習

日数	研修日	研修時間	時間数	科目名	見学及び実習の有無	備考
1	6/3(日)	9:00～9:30	0.5	オリエンテーション		通信課題配布
	6/3(日)	9:35～12:35	3	1 職務の理解 (1) 多様なサービスの理解	○	
	6/3(日)	13:35～16:35	3	1 職務の理解 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		
	6/3(日)	16:45～17:30	0.75	2 介護における尊厳の保持・自立支援 (1) 人権と尊厳を支える介護		
2	6/10(日)	9:00～9:45	0.75	2 介護における尊厳の保持・自立支援 (2) 自立に向けた介護		第1回レポート提出期限
	6/10(日)	9:50～10:35	0.75	3 介護の基本 (1) 介護職の役割、専門性と多種職との連携		
	6/10(日)	10:45～11:30	0.75	3 介護の基本 (2) 介護職の職業倫理		
	6/10(日)	11:35～12:20	0.75	3 介護の基本 (3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		
	6/10(日)	13:20～14:05	0.75	3 介護の基本 (4) 介護職の安全		
6/10(日)	14:15～15:45	1.5	11 人権学習 高齢者問題をはじめとする人権問題			
3	6/24(日)	9:00～10:30	1.5	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (2) 障害者総合支援制度およびその他の制度		第2回レポート提出期限
	6/24(日)	10:40～12:10	1.5	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3) 医療との連携とリハビリテーション		
	6/24(日)	13:10～15:40	2.5	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1) 介護保険制度		
	6/24(日)	15:50～17:20	1.5	5 介護におけるコミュニケーション技術 (1) 介護におけるコミュニケーション		
4	7/1(日)	9:00～10:30	1.5	5 介護におけるコミュニケーション技術 (2) 介護におけるチームのコミュニケーション		第3回レポート提出期限
	7/1(日)	10:40～11:10	0.5	8 障害の理解 (1) 障害の基礎的理解		
	7/1(日)	11:10～11:40	0.5	8 障害の理解 (2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		
	7/1(日)	11:50～12:20	0.5	8 障害の理解 (3) 家族の心理、かかわり支援の理解		
	7/1(日)	13:20～14:50	1.5	6 老化的理解 (1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常		
7/1(日)	15:00～16:30	1.5	6 老化的理解 (2) 高齢者と健康			
5	7/8(日)	9:00～9:45	0.75	7 認知症の理解 (1) 認知症を取り巻く状況		第4回レポート提出期限
	7/8(日)	9:55～10:40	0.75	7 認知症の理解 (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		
	7/8(日)	10:50～11:35	0.75	7 認知症の理解 (3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		
	7/8(日)	11:45～12:30	0.75	7 認知症の理解 (4) 家族への支援		
	7/8(日)	13:30～15:30	2	9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (1) 介護の基本的な考え方		
	7/8(日)	15:40～17:40	2	9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解		

6	7/15(日)	9:00 ~	11:00	2	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解		
	7/15(日)	11:10 ~	12:10	1	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (4) 生活と家事		
	7/15(日)	13:10 ~	14:10	1	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (4) 生活と家事		
	7/15(日)	14:20 ~	17:20	3	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (5) 快適な居住環境整備と介護		
7	7/22(日)	9:20 ~	16:30	6	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
8	7/29(日)	9:20 ~	16:30	6	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
9	8/5(日)	9:20 ~	16:30	6	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
10	8/19(日)	9:20 ~	16:30	6	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
11	9/2(日)	9:20 ~	16:30	6	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
12	9/9(日)	9:20 ~	16:30	6	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (11) 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		レポート提出最終締切日
13	9/23(日)	9:20 ~	12:30	3	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護		
	9/23(日)	13:30 ~	14:30	1	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護		
14	9/30(日)	9:20 ~	16:30	6	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (13) 介護過程の基礎的理解		
15	10/7(日)	9:20 ~	16:30	6	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 (14) 総合生活支援技術演習		
16	10/14(日)	9:20 ~	12:20	3	10 振り返り (1) 振り返り	○	
	10/14(日)	13:20 ~	14:20	1	10 振り返り (2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		
	10/14(日)	14:20 ~	15:20	1	修了評価試験(1時間)		
	10/14(日)	16:20 ~	16:50	0.5	修了式		



科目名	1職務の理解				
到達目標	○研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージをもっと実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。				
指導の視点	○研修過程全体(130時間)の構成と各研修科目(10科目)の相互の関連性の全体像をあらかじめイメージできるようにし、学習内容を体系的に整理して知識を効率・効果的に学習できるような素地の形成を促す。 ○視聴覚教材等を工夫するとともに、必要に応じて見学を組み合わせるなど、介護職が働く現場や仕事の内容を、出来るかぎり具体的に理解させる。				
授業項目	時間数	通学	通信	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等	学習のポイント
多様なサービスの理解	3.0	3.0	0.0	・介護保険による居宅サービス ・介護保険による施設サービス ・介護保険外のサービス	・介護保険による居宅サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。 ・介護保険による施設サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解
介護職の仕事内容や働く現場の理解	3.0	3.0	0.0	・各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する。 ・ケアマネジメントを通じて、介護サービス提供に至るまでの流れを理解する。	・自立とは、援助の有無にかかわらず、自らの責任のもと、その能力に合った生活を自分で選択し実践することである。 ・介護を必要とする人の生活意欲を高め、その人らしい尊厳のある暮らしを支えることに自立支援の意義はある。
授業時間数合計	6.0	6.0	0.0		

講師一覧表

講師名	担当科目・項目	資格 略歴 現在の職業
高橋 長弘	6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目	医師  医師業務(H10～) 理事業務(H12～H25) 理事長業務(H25～)  理事長・医師業務
高田 顕二	1 職務の理解/全項目 2 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目 3 介護の基本/全項目 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3)医療との連携とリハビリテーション 5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目 9 ところとからだのしくみと生活支援技術/全項目 10 振り返り/全項目	介護福祉士  管理者、介護業務 (H8～)  施設長、管理者
池田 るみ子	3 介護の基本/全項目 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携/全項目 5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目 9 ところとからだのしくみと生活支援技術/全項目 10 振り返り/全項目	看護師  看護業務 (S47～)  看護業務
佐藤 敏江	3 介護の基本/全項目 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携/全項目 5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目 9 ところとからだのしくみと生活支援技術/全項目 10 振り返り/全項目	看護師  看護業務 (S54～)  看護業務

牛島 祐	1 職務の理解/全項目 2 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目 3 介護の基本/全項目 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3)医療との連携とリハビリテーション 5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目 9 こころとからだのしくみと生活支援技術/全項目 10 振り返り/全項目	介護支援専門員  介護福祉士  管理者、介護業務 (H16～)  管理者、介護業務
安部 裕司	1 職務の理解/全項目 2 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目 3 介護の基本/全項目 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3)医療との連携とリハビリテーション 5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目 9 こころとからだのしくみと生活支援技術/全項目 10 振り返り/全項目	介護福祉士  生活相談・介護業務 (H21～)  生活相談員・介護業務
安部 由希	1 職務の理解/全項目 2 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目 3 介護の基本/全項目 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3)医療との連携とリハビリテーション 5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目 9 こころとからだのしくみと生活支援技術/全項目 10 振り返り/全項目	介護福祉士  介護業務 (H22～)  介護業務
今枝 久美	1 職務の理解/全項目 2 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目 3 介護の基本/全項目 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3)医療との連携とリハビリテーション 5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目 9 こころとからだのしくみと生活支援技術/全項目 10 振り返り/全項目	介護福祉士  介護業務 (H18～)  介護業務

<p>笹木 沙織</p>	<p>1 職務の理解/全項目  2 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目  3 介護の基本/全項目  4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携  (3)医療との連携とリハビリテーション  5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目  6 老化の理解/全項目  7 認知症の理解/全項目  8 障害の理解 /全項目  9 ころとからだのしくみと生活支援技術/全項目  10 振り返り/全項目</p>	<p>介護福祉士   介護業務  (H22～)   介護業務</p>
<p>柴田 隼平</p>	<p>1 職務の理解/全項目  2 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目  3 介護の基本/全項目  4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携  (3)医療との連携とリハビリテーション  5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目  6 老化の理解/全項目  7 認知症の理解/全項目  8 障害の理解 /全項目  9 ころとからだのしくみと生活支援技術/全項目  10 振り返り/全項目</p>	<p>介護福祉士   管理者、生活相談、介護業務  (H18～)   介護業務</p>
<p>重見 敦子</p>	<p>3 介護の基本/全項目  4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携/全項目  5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目  6 老化の理解/全項目  7 認知症の理解/全項目  8 障害の理解 /全項目  9 ころとからだのしくみと生活支援技術/全項目  10 振り返り/全項目</p>	<p>看護師   看護業務  (H19～)   看護業務</p>
<p>新村 雅彦</p>	<p>11 人権学習</p>	<p>中学校教諭一級普通免許状  高校教諭二級普通免許状   中学校教諭(S52～H6)</p>
<p>新村 美智代</p>	<p>11 人権学習</p>	<p>中学校教諭一級普通免許状  高校教諭二級普通免許状  養護学校教諭一級普通免許状   中学校教諭(S50～51、S52～54、  H2～19)  養護学校教諭(S52、S54～H2)</p>

須田 貴子	1 職務の理解/全項目 2 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目 3 介護の基本/全項目 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3)医療との連携とリハビリテーション 5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目 9 ころとからだのしくみと生活支援技術/全項目 10 振り返り/全項目	介護福祉士  生活相談・介護業務 (H20～)  生活相談員・介護業務
西村 香苗	1 職務の理解/全項目 2 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目 3 介護の基本/全項目 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3)医療との連携とリハビリテーション 5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目 9 ころとからだのしくみと生活支援技術/全項目 10 振り返り/全項目	介護福祉士  生活相談・介護業務 (H21～)  生活相談員・介護業務
武部 祐	1 職務の理解/全項目 2 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目 3 介護の基本/全項目 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携/全項目 5 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 6 老化の理解/全項目 7 認知症の理解/全項目 8 障害の理解 /全項目 9 ころとからだのしくみと生活支援技術/全項目 10 振り返り/全項目	介護福祉士 介護支援専門員  生活相談、介護業務、管理者、計 画作成担当者 (H12～)  生活相談員・介護業務・計画作成 担当者